

## 平成 27 年度 熊本市歯科保健推進協議会における第 2 回検討委員会 議事録要旨

日時：平成 28 年 1 月 29 日（金）14 時～15 時半

場所：議会棟 2 階 議運・理事会室

出席：10 名 逢坂 佐恵子、古閑 進、高松 尚史、竹田 和子、立石 久美子、土屋 裕子、中山 秀樹、前田 篤志、宮本 格尚、横田 瑞恵（五十音順・敬称略）

事務局：健康づくり推進課、子ども支援課、保育幼稚園課、子ども発達支援センター、各区保健子ども課

### 1 テーマ 「妊娠期、乳幼児期におけるむし歯予防について」

平成 34 年までに本市の 3 歳児のむし歯のない者を 90% 以上にするために各団体、行政が今後取り組むことを検討する。

### 2 内容（ご意見、今後取り組むこと等）

各団体からのご意見・今後取り組むことについては下記のとおりである。

#### ①歯科の啓発

ご意見	今後取り組むこと
<p>◆市保育園連盟</p> <p>母親は 3～4 月の時期（新入園児など）であれば、熱心に話を聞いてくれるので、啓発には良いタイミングだと思う。</p>	<p>◆市歯科医師会</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・受診率の高い産婦人科での妊婦健診の際に歯科健診の啓発を行う。</li><li>・資料 1－1 を妊婦歯科健診の必要性が伝わるように改善する。</li><li>・次年度 3 つ折パンフレットを作成し、市医師会へ産婦人科で配布してもらうよう協力依頼を行う予定。</li></ul>
<p>◆熊本大学</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・母親が前向きに情報を取り入れるタイミングに産婦人科等と何かしらの形でタイアップして啓発を行う。</li><li>・口の健康が全身の健康に関係していることが分かるデータ等を活用する（テレビ番組のように市民が情報を吸収しやすいような工夫も必要）。</li><li>・各団体が共通した話が出来るように、使用するキーワードやデータを統一する。</li></ul>	<p>◆市保育園連盟</p> <p>園児の様子や流行の病気等を載せた掲示板を保育園に設置（保護者に好評）しているので、その掲示板に歯科のことも載せたら良いかと思う。→「見える化」</p>
<p>◆県看護協会</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・政令市の中でワーストであることが市民にとってなぜ悪いことなのか、市民に伝わっているのか。</li><li>・保護者が「このような場合に歯医者に連れて行く」というセルフチェックができるものがあると良いかと思う。</li></ul>	<p>◆市私立幼稚園協会</p> <p>新入園児を対象に働きかけたい。</p>
<p>◆市医師会</p> <p>産科以外の内科や耳鼻科など若い人が利用する病院の待合室にもポスターを設置してはどうか。</p>	<p>◆市薬剤師会</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・薬局には美しくなりたい方がよく来られるので、（別添のローソンに設置するカードのように）歯がきれいだと美しいことを強調して良いと思う。→受診率向上</li><li>・薬局には様々な方が来られるので、そこで情報発信などの協力をを行う。</li></ul>

	<p>◆事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・無関心の方への対応として、他のイベントに行けば歯科の啓発もあっているというような形で地道に続けていきたい。</li> <li>・熊本市と包括協定を結んでいるローソンの市内各店舗に、歯科啓発カードを設置予定。カード本体と設置場所等は3月の店長会議で決定するので、それまでに別添のカード（案）の内容についてご意見いただきたい。また、各団体も一緒に啓発に取り組んでいただけるということで、カードには「熊本市、熊本市歯科保健推進協議会」を連名で入れさせていただきたいと思う。</li> </ul>
--	--

## ②歯科健康教育の充実

<u>ご意見</u>	<u>今後取り組むこと</u>
<p>◆市歯科医師会</p> <p>妊娠期の方を対象に医歯薬の団体で一般向けの講演会等を行うとおもしろいのでは。</p>	<p>◆市歯科医師会</p> <p>様々な場面で歯科講話をする機会を増やしたい。その場合、場の提供は各団体にお願いする必要がある。</p>
<p>◆熊本大学</p> <p>健口のイメージを持つ取り組み、教育が大切。</p>	<p>◆県歯科衛生士会</p> <p>子ども文化会館での妊娠中、子育て中の方（主に3歳未満）への歯科講話、歯みがき指導を継続実施する。</p>
<p>◆8020 健康づくりの会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未就園児対象の子育てサークルにおいて年に1回歯みがき指導を実施されているので、この場をもっと活用してはどうか。</li> <li>・小中学校では年1～3回、担任の先生等から歯科保健を学ぶことになっている。このうち1回でも歯科医師や歯科衛生士から歯みがきの仕方等を徹底してもらえば、妊婦になったときに役立つのではないかと思う。</li> </ul>	<p>◆市私立幼稚園協会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各幼稚園において歯科講話を実施したという話は聞いていないが、当園では今年度子育てサークル（未就園児対象）において園歯科医による講話や歯のみがき方等を指導した。来年度も実施予定。</li> <li>・年に2～3回保護者を対象に講話を実施するが、そこに歯科の内容を入れるよう保護者と話し合いながら進めたい。</li> </ul>
	<p>◆県看護協会</p> <p>看護協会では小中高生に性教育（命の大切さ）を話しているので、そこに歯科も取り入れていきたい。</p>

### ③歯科指導内容の見直しと充実

#### ご意見

##### ◆県歯科衛生士会

臨床において2歳児のむし歯が多く、母親の知識が十分でないと感じているので、やはり妊娠期からの指導が大切である。

#### 今後取り組むこと

##### ◆県歯科衛生士会

- ・1か所でも良いので、産科病院において妊婦教室に歯科保健指導を入れてもらえればと思う。
- ・小児科の7か月児健診で歯科保健指導が出来ればと考えている。雇用の問題。

### ④歯科健診事業の充実

#### ご意見

##### ◆市歯科医師会

忙しい方のために親子健康手帳を休日に交付してはどうか。

#### 今後取り組むこと

##### ◆市医師会

産科医や看護師、病院受付の人でも良いので、産婦人科受診の際に歯科健診のことを一言伝える。

##### ◆市保育園連盟

妊婦健診には行くのに妊婦歯科健診には行かない方がいるので、妊婦健診と妊婦歯科健診をタイアップさせてはどうか。

##### ◆県看護協会

- ・成人式に歯科健診を実施している地域があることをテレビで知ったのだが、そのような啓発もあって良いのでは。
- ・県は市より受診率が低いにもかかわらず、早産リスクが減ったとの結果が出ている。今後は歯科健診でのスクリーニングや、歯周病のセルフチェックスコアを出すようにするとのこと。それを市でも活用してはどうか。

### 3 その他（質問等）

質問	回答（事務局）
◆市歯科医師会 熊本の現状（政令市ワースト）について発信しているか。	このような会議で発信したり、8020 推進員募集の際などに少しずつ発信する機会は増えてきている。
資料2「成績の良い他の自治体との活動比較」についてデータ等が出ていれば教えていただきたい。	名古屋市においては、1歳半健診後のハイリスク者に対して細やかな働きかけをしている。熊本市も妊婦期から乳幼児期まで取り組んでいるところであるが、個別的なかかわりが高くはないのでは感じている。
妊婦歯科健診の実施日は決まっているのか。また、受診勧奨チラシ（資料1-1）は配布しているのか。	実施日以外でも親子健康手帳の交付の際に歯科健診と指導を実施している。歯科健診を受診する時間がない方には、歯科医院で受診できるよう妊婦歯科健診受診券を渡している。また、本市では資料1-2を配布している。
◆市保育園連盟 妊婦歯科健診受診券はいつまで使用できるのか（有効期限）。	妊娠中であり、出産後は使用できない。

- ・横田委員から提案のあった「むし歯のない3歳児」のスローガンについては行政が決定する。  
→「39（サンキュー）」はキーワードとして入れる。  
→横田委員より、スローガンについて保育士からアイデアをもらい事務局に伝えること。
- ・今後の具体的なスケジュールは行政が立て、そこに各団体がどのような協力が出来るか落とし込む。
- ・ローソンに設置する啓発カードについてご意見（文言、色、デザインなど）があれば事務局まで連絡する。